

稲瀬地区水防訓練(奥州市江刺区)

●平成22年9月11日(土)奥州市江刺区稲瀬字沼尻地内 北上川左岸堤防法尻において、稲瀬振興会・中央自治会・西南自治会の主催、奥州市消防団第20分団の協力で稲瀬地区の水防訓練が行われました。

●今回の活動は、訓練を通じて稲瀬地区住民の防災意識を高め、出水時に地元住民が主体となり、必要に応じて行動を起こすことが出来るよう身をもって覚えてもらうことを目的として行われたものです。

●当日は、稲瀬地区住民の方々と水防団併せて約110名の皆さんが参加され、地元住民の皆さんが土のうを作成し、消防団で釜段工を実施しました。



土のう作成の様子



ブルーシートを活用し、土のうをスベリ落とします



沼尻集落側から望む、訓練会場の全景



漏水の噴出口を中心に土のうを積み、水の噴出を止める「釜段工」の水防訓練



堤防の上から訓練を見守る参加者、そして一つ一つの土のうの隙間に砂を詰めながら作業を続ける団員の皆さん



完成了しました